

令和3年度 大阪府立交野高等学校 第3回 学校運営協議会 議事録

日時：令和4年1月27日（木）（新型コロナウイルス感染症拡大防止により書面開催）

出席者：安松 秀、吉田 巖、小林 毅、森脇 正子、横道 昭代、大矢 耕平（以上委員6名）

文書を事前に送付し、各委員より文書で回答

●協議の内容

①「令和3年度 学校評価」(案)について

・生徒、保護者、教員のすべての自己診断結果の満足度が前年度から減少して項目が多いのは、コロナ禍において様々な制限を受けた中での教育活動が継続していることが原因であると推測します。

②令和4年度学校経営計画について

・コロナ禍での取組みを加えてはどうでしょうか。

③学校教育自己診断の結果と分析について

・校則に関する項目については、近年スポーツにおいても規律が重要視されているが学校における規律の重要性についての指導を工夫する。

・校則によるスマホ使用の取り扱いについて「緩和を求める声」が拝見できます。様々な視点で緩和が困難であることは認識できるが、丁寧にマニュアル化を図り、ルールの方策を考える時期かもしれません。

・トイレの臭いがひどいようなので、男子トイレの小便器の水が流せるような方法が必要では。

・プロジェクターの不具合は、教育に支障があるので、早急に改善が必要。

・1年生保護者から入学してみて「思っていたような学校ではない」と思われたいよう意見を精査して改善するよう取り組む必要があるのかもしれない。

・コロナ禍で出来なかった学校行事もあったようで、思うような成果に結びつかなかったことが伺えます。制約もいろいろある中で生徒さんにとって何が大切かを第一に取り組んでいただきたいと思います。

・「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある。」という項目が上昇しているのは、私たちがやってきた詰込みの教育とは違い、今の社会に必要な要素を取り入れた教育を実践されていると感じました。

・教職員アンケートで「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」の項目が低下しているので、学校としてスキルアップが必要。先生同士が思いを出し合って人間力を高める時間が必要。

●令和4年度学校経営計画について

令和4年度学校経営計画における、「めざす学校像」と「中期的目標」を承認します。